

## 第2回 官庁営繕事業における一貫したBIM活用に関する検討会

日時：令和5年2月24日(金)13:30～15:00

場所：中央合同庁舎第2号館13階

国土交通省大臣官房官庁営繕部会議室・入札室

### 【議事】

1. 官庁営繕事業におけるBIM活用実施要領（案）等について 資料1
2. 官庁営繕事業におけるBIM連携積算の試行要領（案）について 資料2
3. 今後の予定 資料3

### 【資料】

#### 資料1 委員意見対応表等

官庁営繕事業におけるBIM活用実施要領（案）等について

官庁営繕事業におけるBIM活用ガイドライン（案）

官庁営繕事業におけるBIM活用実施要領（案）

設計業務/工事にかかるEIR（改定案）

#### 資料2 委員意見対応表

官庁営繕事業における「BIM連携積算」について

官庁営繕事業におけるBIMデータを活用した積算業務 試行要領（案）

#### 資料3 今後の予定

#### 参考資料 第1回検討会議事概要

第9回建築BIM推進会議報告資料

【参加者（敬称略）】

- 委員 蟹澤 宏剛 芝浦工業大学建築学部建築学科 教授  
安野 芳彦 公益社団法人 日本建築士会連合会  
竹馬 章二 一般社団法人 日本設備設計事務所協会連合会  
曾根 巨充 一般社団法人 日本建設業連合会  
脇田 明幸 一般社団法人 全国建設業協会  
三村 陽一 一般社団法人 日本電設工業協会  
古島 実 一般社団法人 日本空調衛生工事業協会  
谷藤 正樹 公益社団法人 日本建築積算協会  
清水 達広 一般社団法人 日本建築積算事務所協会

○オブザーバー

- 繁戸 和幸 一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会  
岡本 尚俊 公益社団法人 日本建築家協会

○行政側出席者

- 植木 暁司 国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課長  
村上 幸司 国土交通省大臣官房官庁営繕部 設備・環境課長  
小澤 剛 国土交通省大臣官房官庁営繕部 計画課 営繕積算企画調整室長  
滝本 悦郎 国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課 施設評価室長

【議事概要】 ○委員、オブザーバー ●行政側、事務局

#### 1. 官庁営繕事業における BIM 活用実施要領（案）等について

- 事務局より資料を説明。

（質疑）

- ガイドライン中に、積極的に BIM 活用をしなくてもよいように受け止められる表現がある。業界が積極的に関わっていけるような表現となるよう検討いただきたい。
- 検討する。
- 入札参加者は、通常入札時点で BIM 活用の判断を行っているが、BIM 活用する場合の費用は入札時に計上しないということで良いか。
- 工事で設定を予定している推奨項目の BIM 活用は任意であり、入札時点で BIM 活用を想定しているのであれば、それに対応した費用は入札時に計上されるものとする。
- 受注者が BIM 活用を行うことでコストが高くなる一方、良いものができる場合があるが、入札時にどのように評価されるのか。
- 技術提案の評価基準に従い評価することになる。
- 工事入札段階において設計 BIM データが参考提示されないと、入札参加者は BIM 連携積算できないことになるが、今後提示される可能性はあるのか。
- 将来的な課題となる。
- BIM に習熟していない者にもわかりやすく、ビジュアルな表現や参考例を示して欲しい。
- 今後検討する。

#### 2. 官庁営繕事業における BIM 連携積算の試行要領（案）について

- 事務局より資料を説明。

（質疑）

- BIM ソフトウェアの数量算出機能を利用して「公共建築工事積算基準」等に基づく積算を行うのは（別途条件等の追加や補正を行う必要が生じることから）難しいため、事実上、積算ソフトウェアが使用されるものとするが、積算ソフトウェアの利用に関して「利用しても差し支えない」という記載に違和感がある。
- ご指摘のとおり、積算ソフトウェアを利用することが考えられるが、今回の試行の対象部位等には、建具等の個数を集計する部位等も含まれており、BIM ソフトウェアの数量算出機能を利用しても対応は可能。
- BIM 連携積算の試行により、業務の効率化が図られたかどうか整理していただきたい。

また、試行を通じて、どこまでモデリングするのが妥当であるか、検討してほしい。

- 試行対象についてフォローアップしてまいりたい。また、モデリングの範囲については、業務の効率化の観点を踏まえつつ、設計者の負担にも配慮して、検討してまいりたい。
- 設備関係について、BIM 積算連携を今後どの様に進めていくのか。
- 設備については、BIM の普及・活用状況や活用可能なツールの開発動向も踏まえ、BIM 連携積算の具体的な方法等について検討していく。

### 3. 今後の予定

- 事務局より資料を説明。

(以上)